



OS ユーザーマニュアル

目次

1	はじめに.....	1
2	サイドバー.....	2
2.1	戻るボタン	2
2.2	ホームボタン	2
2.3	直近のタスク.....	2
2.4	メモ帳	3
2.5	注釈ツール.....	3
2.6	画面ロック.....	3
2.7	その他ツール.....	4
2.7.1	スポットライト	4
2.7.2	カウントダウン.....	5
2.7.3	ストップウォッチ.....	5
2.7.4	Air class	6
3	ノート.....	11
3.1	メニュー.....	11
3.2	閉じる	13
3.3	選択	13
3.4	ペン.....	14
3.5	消しゴム	15
3.6	クリア.....	15
3.7	図形	15
3.8	描画ボード.....	15
3.9	撤回.....	16
3.10	復元	16
3.11	ページの追加	17
3.12	前のページ	17

3.13 ページ付け.....	17
3.14 次のページ.....	17
4 ファインダー.....	18
4.1 カテゴリーに応じたブラウジング.....	18
4.2 リソース操作.....	19
4.3 順番.....	21
4.4 閉じる	23
5 ビジュアルライザー.....	24
6 設定.....	25
6.1 無線とネットワーク.....	25
6.2 共有する	25
6.3 端末.....	25
6.4 ユーザー設定	25
6.5 設定.....	26
7 ブラウザ.....	27
8 キーパー.....	27
9 タッチメニュー.....	28
10 クラウドドライブ	29
11 スクリーンロック	29

1. はじめに

OSは、インテリジェントタブレットコンピューター用のアプリケーションオペレーティングシステムである。図1-1に示すように、マシンを開くと、Launcher インターフェースにすぐにアクセスできる。

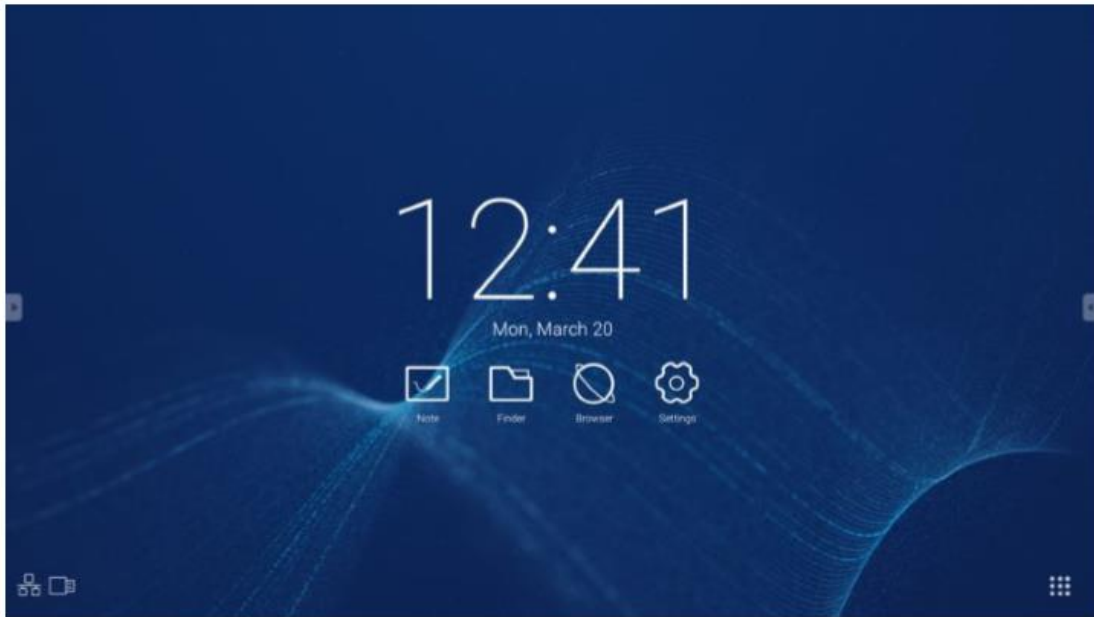



図 1-1 Launcher インターフェース

図に示すように、右下の  ボタンをクリックしてアプリにアクセスする。

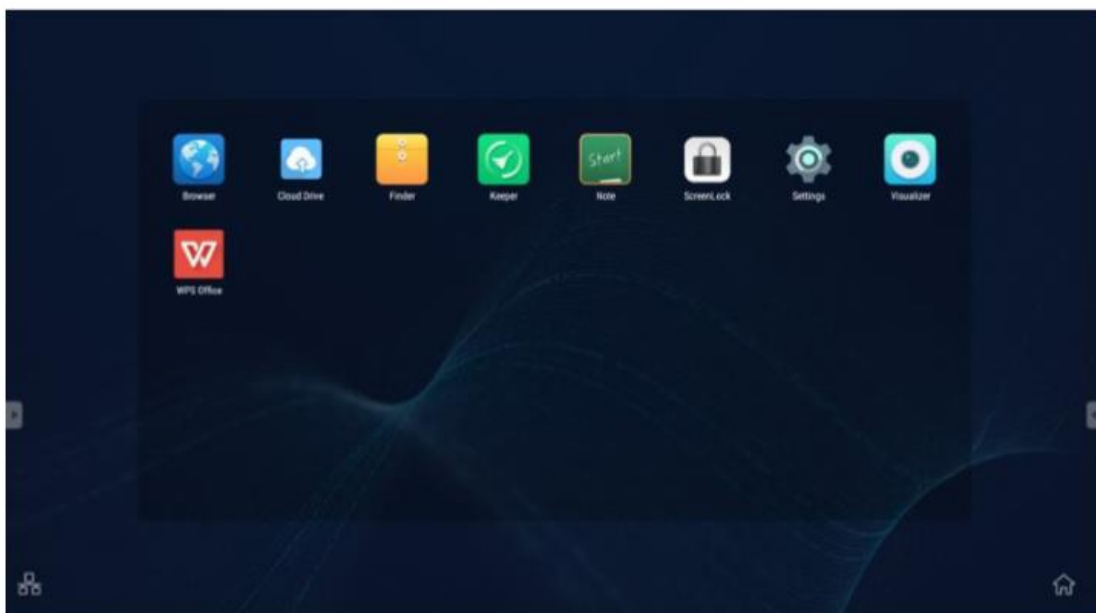




図 1-2 アプリ

2. サイドバー

両側にある  あるいは  を押す。

たとえば、図 2-1 は、右側のサイドバーを呼び出す方法を示している。サイドバーの機能には、戻るキー、ホームキー、直近のタスク、クイックホワイトボード、注釈ツール、切り抜き、画面のフリーズ、小さなツールが含まれる。

有効なパスは、設定画面から設定できる。

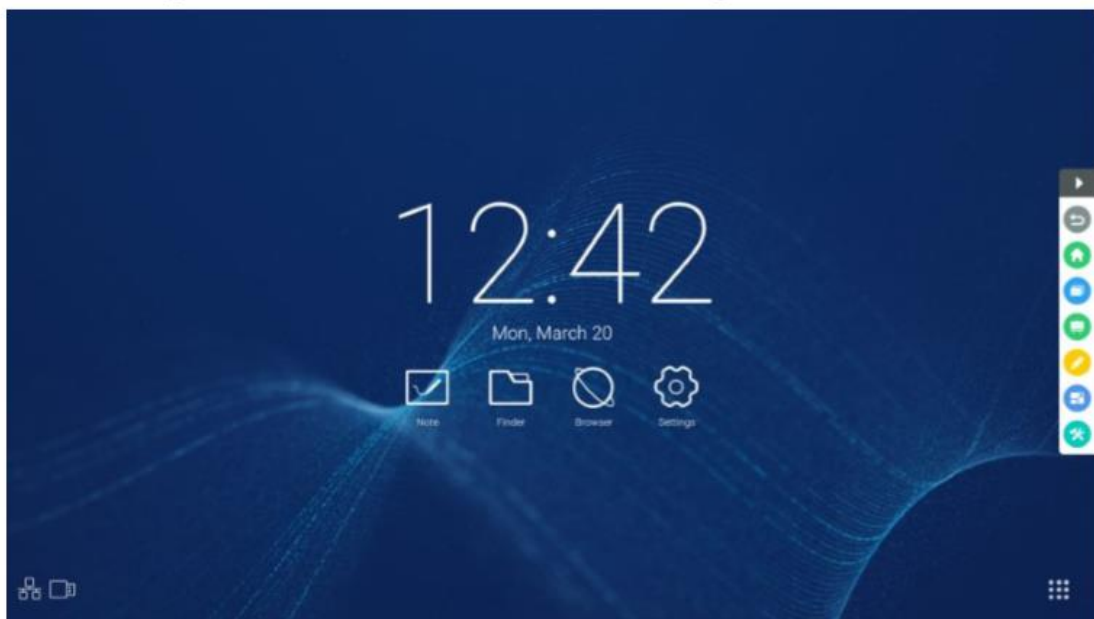



図 2-1 サイドバーボタン


2.1 戻るボタン

前の画面に戻るには  をクリックする。


2.2 ホームボタン

デスクトップに戻るには  をクリックする。

2.3 直近のタスク

 をクリックしてウィンドウをポップアウトし、最近操作したタスクを表示する。1つのボタンですべての進行状況を削除できる。

2.4 メモ帳

メモ帳を開くには  をクリックする。書く、消す、選択するなど様々な機能がある。詳しくは「3. ノート」を参照する。

2.5 注釈ツール





図 2-5-1 に示すように、 をクリックして注釈ツールをポップアウトする。ツールには注釈、削除、スクリーンショット、終了などの機能が含まれる。クイックホワイトボードが使用されている際は、この機能は使用できない。



図 2-5-1 注釈ツール

- ① 注釈モードにアクセスすると、インターフェースに直接書き込み、メモをすることができる。ペンの色も赤と黒で切り替えることができる。
- ② スクリーンショットの保存には  を押す。
- ③ 終了するには  を押す。

2.6 画面ロック

画面ロックツールを出すには  を押す。画面ロックをするのと同時に拡大、縮小することも可能。

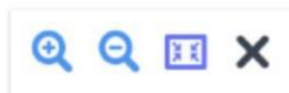








図 2-5-1 画面ロックツール

- ① 画面を拡大するには  を押す。
- ② 画面を縮小するには  を押す。
- ③ 元の画面のサイズに戻するには  を押す。
- ④ 終了するには  を押す。

2.7 その他ツール

その他ツールを出すには  を押す。ツールにはスポットライト、カウントダウン、ストップウォッチ、Air Class の機能がある。

2.7.1 スポットライト

図 2-7-1-1 に示すように、 を選択してスポットライトを開く。スポットライトを使用することによって強調したい箇所へ視聴者の意識を集中させることができる。

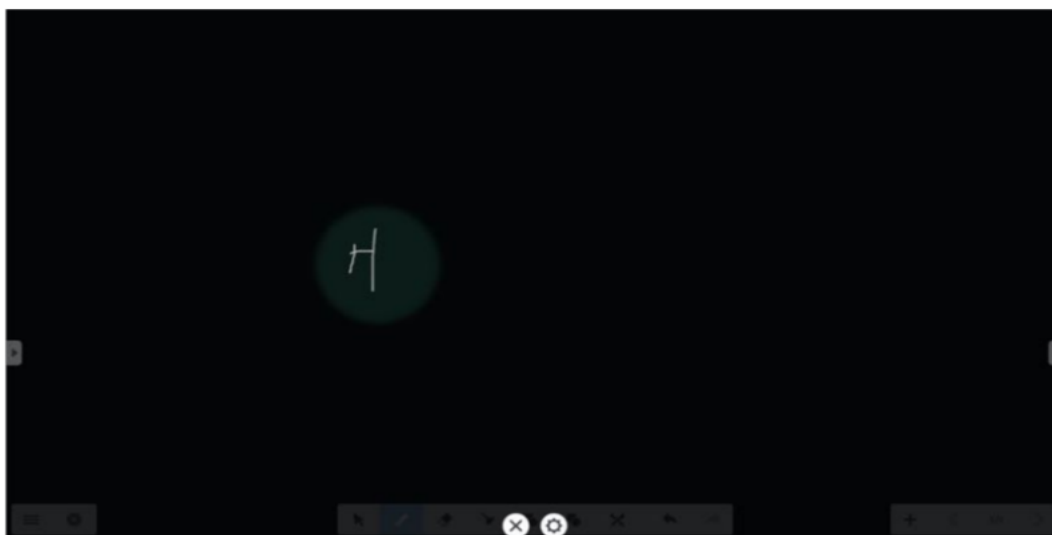


図 2-7-1-1 スポットライト

①黒い領域をドラッグして、スポットライトで強調したい場所をへ移動させる。

②図 2-7-1-2 に示すように  を押して設定画面を出す。

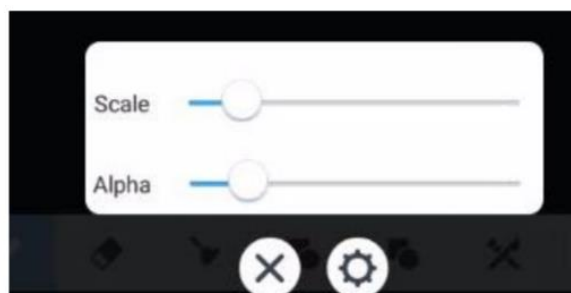



図 2-7-1-2 設定

➤大きさを調節する場合は Scale で調整する。

➤スポットライトの透明度を調整する場合は Alpha をドラッグして調節する。

③スポットライトを消す場合は  を押す。

2.7.2. カウントダウン


図 2-7-2-1 に示すように  を押してカウントダウンツールを開く。

図 2-7-2-2 に示すように、「START」ボタンを押してカウントダウンを開始する。カウントダウンを止める場合は「PAUSE」ボタンを押す。リセットする場合は「RESET」ボタンを押す。

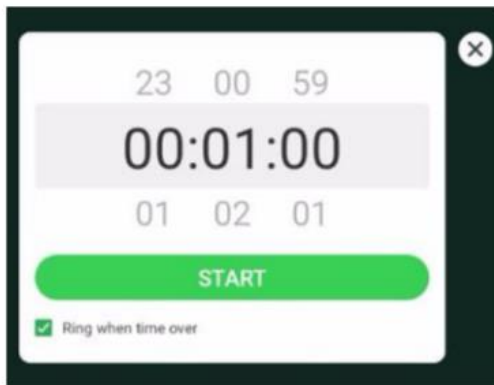


図 2-7-2-1 カウントダウンのスタート前画面

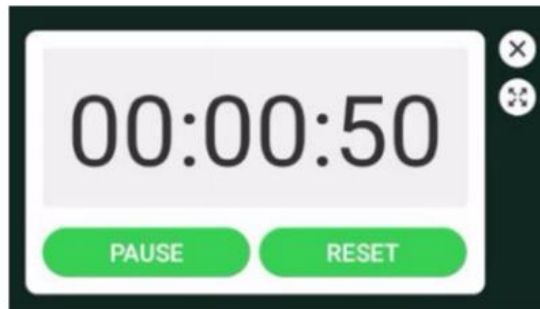



図 2-7-2-2 カウントダウン中画面

2.7.3 ストップウォッチ

図 2-7-3-1 に示すように  を押してストップウォッチを開く。ストップウォッチ、ストップウォッチの一時停止、継続、リセットの機能がある。

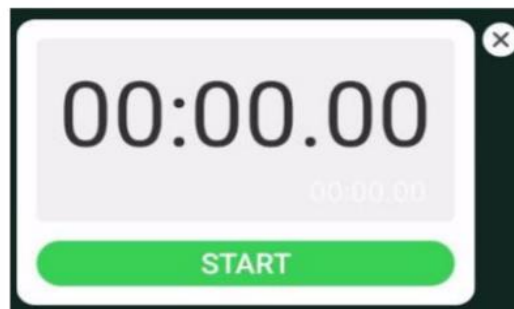


図 2-7-3-1 ストップウォッチ

2.7.4. Air class


 を選択して Class に入る。参加者が QR コードを読み取ったのち、司会者が「ENTER THE CLASS」を選択する。同じ LAN に入っていることを確認する。




図 2-7-4-1 QR コード



図 2-7-4-2 メニューバー

2.7.4.1 投票者

 を押すと回答者用のバーが画面下部に出てくる。質問の形式に合わせて複数選択か単一選択かを選択する。

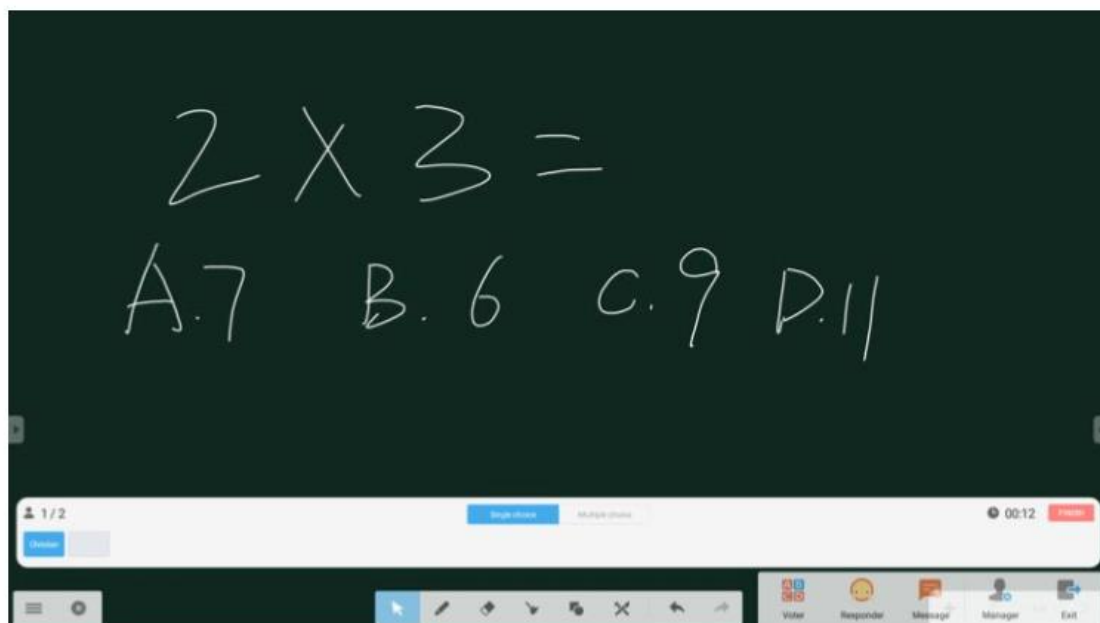


図 2-7-4-1-1 投票者

➤ 「Begin」を押して質問への回答を始める。回答した参加者の名前は青く表示される。

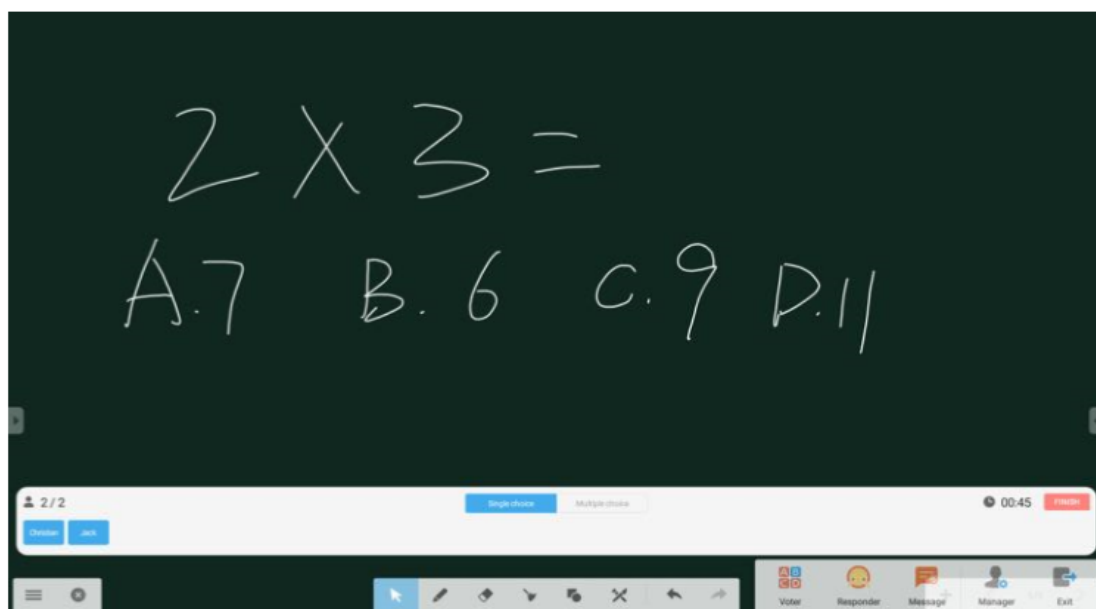


図 2-7-4-1-2 投票者

✕回答を終える際は「Finish」を押し、回答集計ページにアクセスできるようになる。

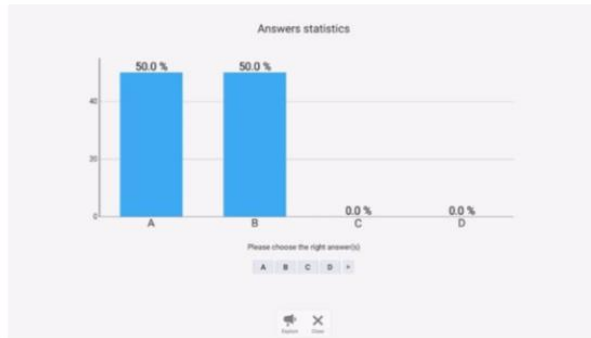



図 2-7-4-1-3 回答集計

正しい答えを選択し、正答率を計算する。



図 2-7-4-1-4 回答集計

▶回答統計の解説ボタン  をクリックして、ティーチングページにアクセスする。ユーザーは、回答状況を確認しながら質問の解説を確認できる。

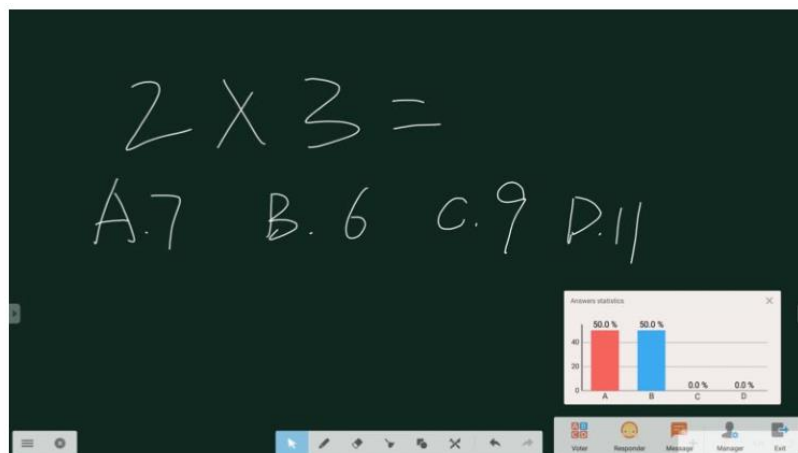



図 2-7-4-1-5 解説

2.7.4.2 回答者

 を押して回答パートへアクセスする。参加者は「OK」ボタンを押すと回答ができる。

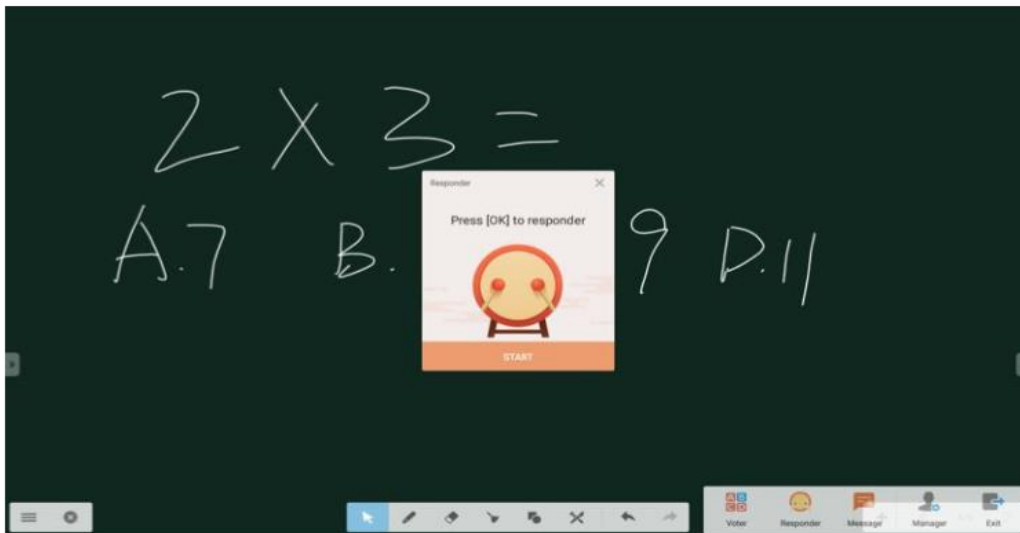


図 2-7-4-2-1 回答者

2.7.4.3 掲示板

掲示板を開いた後、参加者は携帯電話で掲示板のコメントを公開できる。掲示板のコメントは、タブレットコンピューターでリアルタイムに更新される。

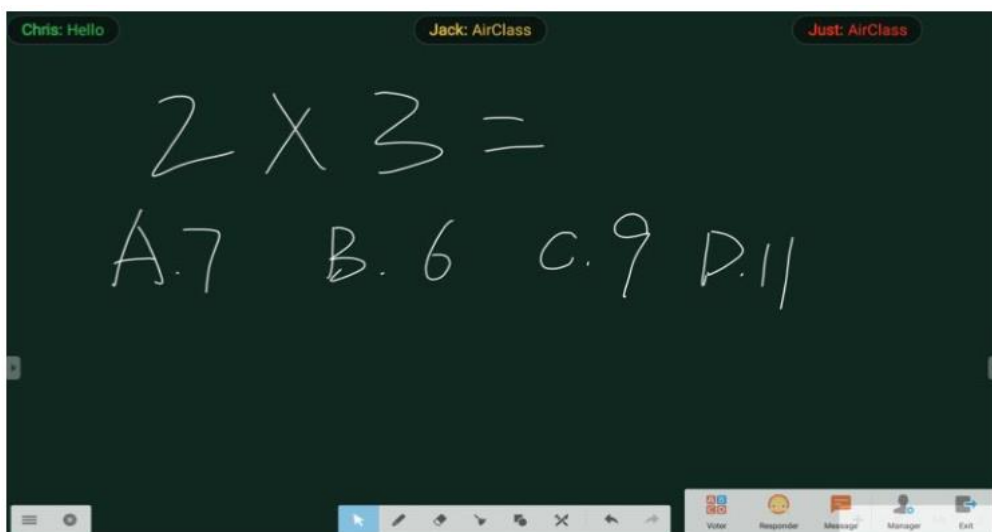


図 2-7-4-3-1 掲示板

2.7.4.4. マネージャー

参加者が簡単にクラスに参加できる様、マネージャーボタンを押して QR コードを表示させることもできる。



図 2-7-4-4-1 マネージャー

3. ノート

図 3-1 に示すように  を押してノートを開く。

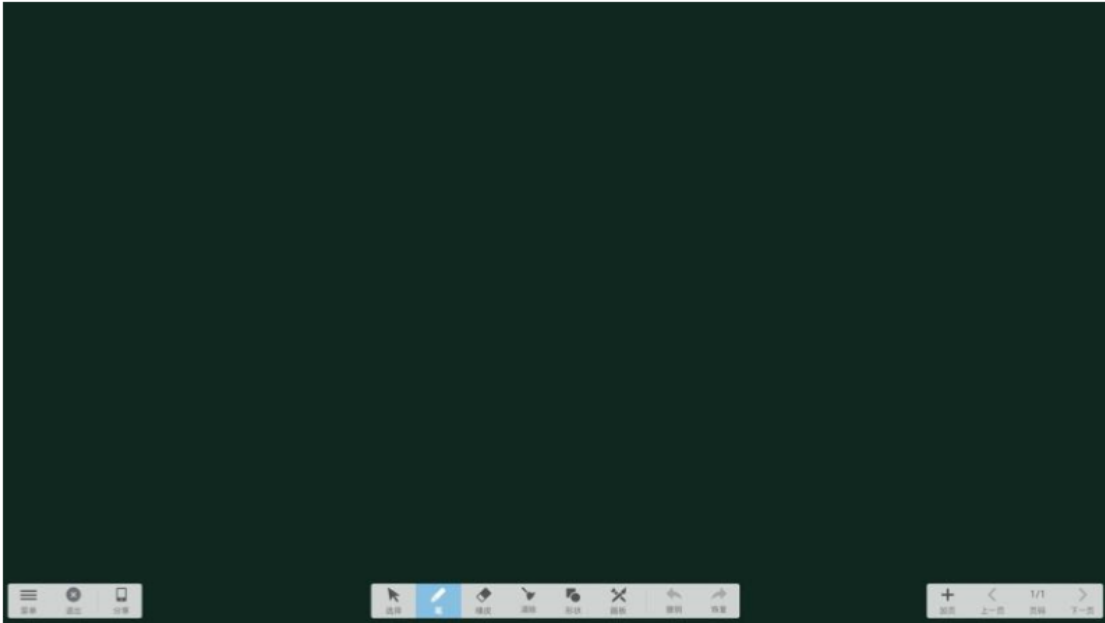



図 3-1 ノート

3.1 メニュー

図 3-1-1 に示すように  を押してメニューを開く。このメニューからは背景スイッチや保存機能などを選択することができる。

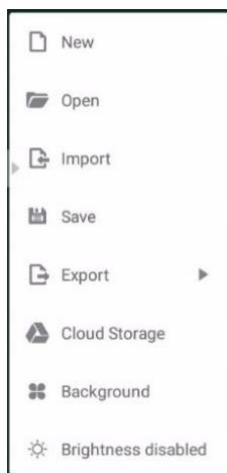






図 3-1-1 スタートメニュー

(1)新規:  を押して新しいボードを作成する。

(2)開く：  を押してファイル選択画面を出す。enb 形式のファイルを開くことができる。

(3)読み込み：  を押して JPG ファイルをホワイトボードのコースウェアに読み込む。

(4)保存：  を押して enb 形式で参照するファイルに現在の書類を保存する。

(5)書き出し：  を押して現在のホワイトボードのコースウェアを IMG、PDF、SVG あるいは IWB フォーマットに書き出しをする。

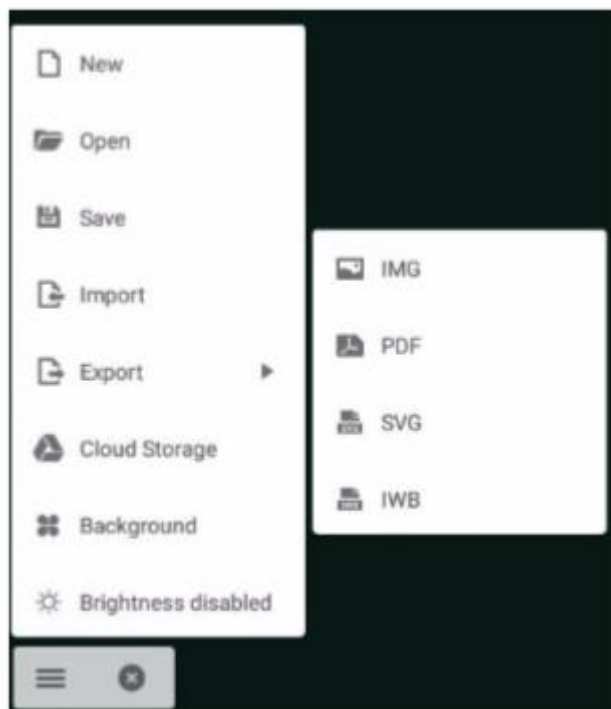




図 3-1-2 書き出し

(6)クラウドに保存する：  を押して現在のファイルを Google ドライブと OneDrive に書き出しをしてアップロードする。

(7)背景：  を押してデフォルトで黒色になっている現在の背景色を変更する。任意の色をクリックして、ページの背景色を選択した色に切り替える。

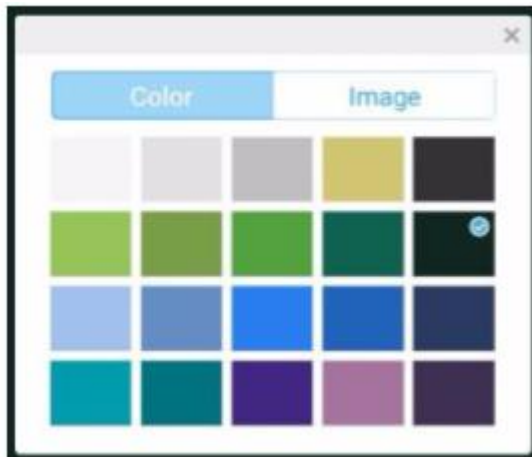


図 3-1-3 背景色

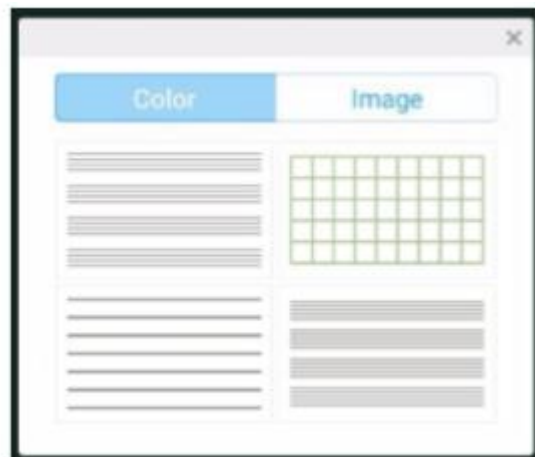





図 3-1-4 イメージ背景

(8)輝度調整を無効：  を押して自動輝度調整を有効にする。デフォルトでは無効になっている。

3.2 閉じる

 を押して、メインインターフェイスに戻る。現在のドキュメントが保存されていない場合、保存プロンプトウィンドウが表示され、ユーザーはファイル名を入力して現在のドキュメントを保存できる。現在のドキュメントが保存されている場合、再度保存する必要はない。ソフトウェアを直接終了して、メインインターフェイスに戻る。

3.3 選択

 を押して、ページのオブジェクトで選択操作を実行する。図 3-3-1 に示すように、近い図を描画するか、インターフェイス上のオブジェクトをクリックすると、選択したオブジェクトを移動またはズームインまたはズームアウトできる。


Smart Pen : Note ソフトウェアに対応するツールバーが選択機能の場合、ユーザーはツールバーを書き込み状態に切り替えることなく、Note の Smart Pen を使用して直接書き込むことができる。



図 3-3-1 選択

- ① 移動: 選択したオブジェクトを円で囲んで選択し、ドラッグして現在のオブジェクトを任意の場所に移動する。
- ② ズームイン、ズームアウト
 - a. オブジェクトを囲う様に 2 点を結び選択し、ズームインまたはズームアウトし、現在のオブジェクトの色を黒、黄、青、または赤に変更する。
 - b. 現在のページを全体的にズームインまたはズームアウトするには、2 点でページを操作する。

3.4 ペン

 を押して、ペン設定ウィンドウをポップアウトする。手書きのサイズと色を設定すると、スライドするときに手書きする必要がある場所に手書きが表示される。

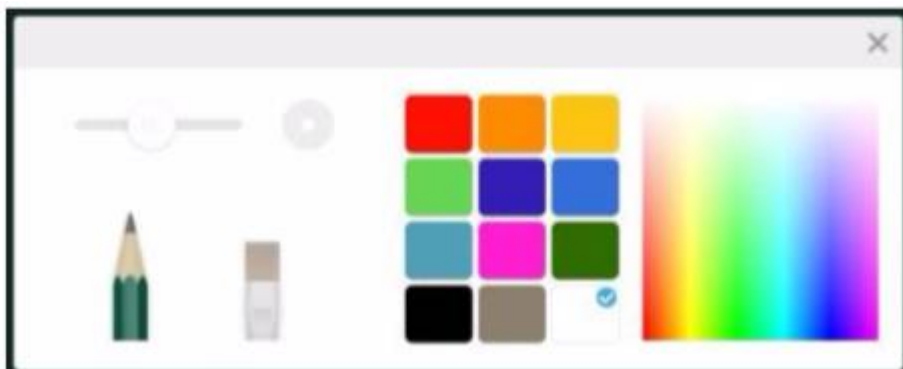


図 3-4-1 ペン設定-

- ① **ペン**:鉛筆とブラシの機能が備わっている。鉛筆はデフォルトで設定されている。
- ② **手書きサイズ**:手書きサイズののスライドバーをスライドさせ、サイズを変更する。
- ③ **手書きカラー**:右側のカラーディスクの色をクリックして、必要に応じて手書きの色を変更する。

3.5 消しゴム



を押して、消しゴムを選択する。消したい箇所を丸く囲う。

3.6 クリア



を押してすべてを消す。

3.7 図形



を押して図形ウィンドウをポップアウトさせる。

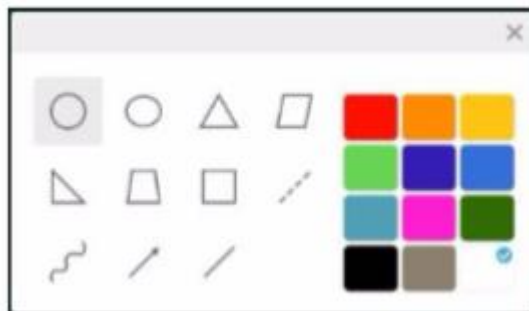


図 3-7-1 図形ウィンドウ

3.8 描画ボード




図 3-8-1 に示すように  を押して描画ボードを呼び出す。




図 3-8-1 線画ボード

- **ペン**：鉛筆はデフォルトで設定されている。鉛筆、ブラシ、消しゴムの機能が備わっている
- **パレット**：色を選択し、パレットをクリックして回転する形で色付けする。
- **カラーピッカー**：クリックしてカラーピッカーをアクティブにすると、描画ボード領域に丸いカラーピッカー  が表示される。目的の色までドラッグし、クリックして色の選択を終了する。この場合、ペンの色は選択された色である。
- **カラーディスク**：ユーザーは、カラーディスクの色を変更することにより、カラーサークルの色を変更できる。


3.9 撤回

 を押して、前の操作を撤回する。


3.10 復元

 を押して、前の操作を復元する。このボタンは、撤回操作が完了する前は非表示の状態になっている。


3.11 ページ追加

 を押して、ページを追加する。


3.12 前のページ

 を押して、前のページに戻る。現在のページが最初のページである場合、このボタンをクリックすることはできない。

3.13 ページ付け


 を押してすべてのページのサムネイルを読み込む。サムネイルを直接クリックして表示することもできる。

3.14 次のページ

現在のページが最後のページでない場合、 を押して現在のページの次のページに切り替える。

4 ファインダー



図 4-1 に示すように、 押してファイル参照をポップアウトする。文書、ホワイトボードの書き込み、ビデオ、画像、音声など、システムに保存されたファイルを閲覧できる。さらに、外部 USB デバイスの自動識別、カテゴリに応じたファイルの閲覧、ファイルの検索などを行うことができる。

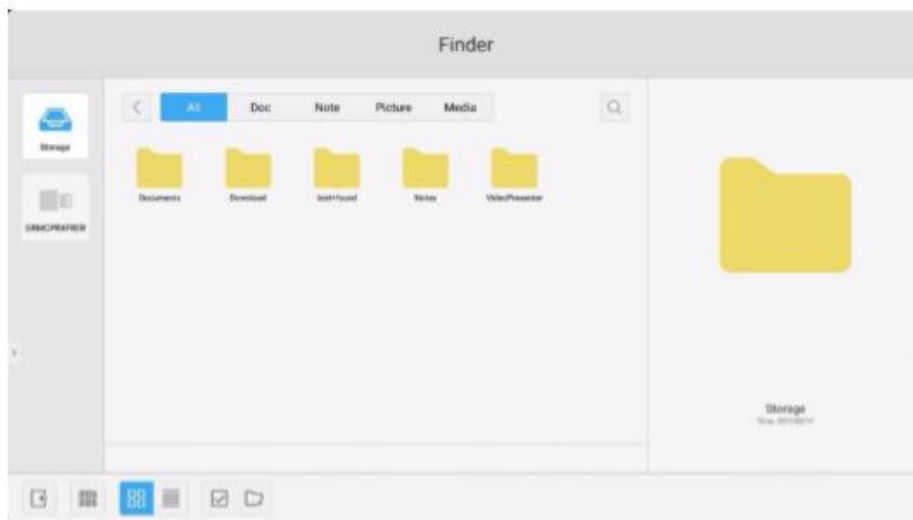



図 4-1 ファイル参照

4.1 カテゴリに応じたブラウジング

ユーザーは、ドキュメント、ホワイトボード作成 (ホワイトボードおよびクイックスクリーンショットによって保存されたページ)、ビデオ、画像、音声など、カテゴリに従ってシステムに保存されているリソースを閲覧できる。



- 内部ストレージモジュールにアクセスすると、デフォルトですべてのリソースが表示される。
- [Doc]を押して、PPT、Word、Excel、PDF ドキュメントを参照する。
- ホワイトボードによって保存されたファイルとクイックスクリーンショットを参照するには、[Note]を押す。
- [画像]を押して、保存されている画像を参照する。
.jpg、.jpeg、.png、.bmp、.gif などの形式がサポートされている。

- [メディア]をクリックして、保存されているビデオ、
.avi、.asf、.wmv、.m2t、.mp4、.vob、.mkv、.divx、.xvid、.mov
、.ssif、.mpeg、.mpe などの形式を参照する。m3u がサポートさ
れている。
- インターフェイスの右上隅の入力ボックスに検索したいものを入力
し  を押してリソースを検索する。たとえば、「word」と入力
すると、「word」という名前のリソースを検索することができる。

4.2 リソース操作

ユーザーは、作成、選択、すべての選択、選択の取り消し、コピー、
貼り付け、切り取り、削除、名前の変更など、システムに保存されているリ
ソースを編集することができる。

。

- ①  を押して  に切り替える。リソースの左上隅に選択ボツ
クスが表示される。その後、必要に応じてリソースを選択できる。

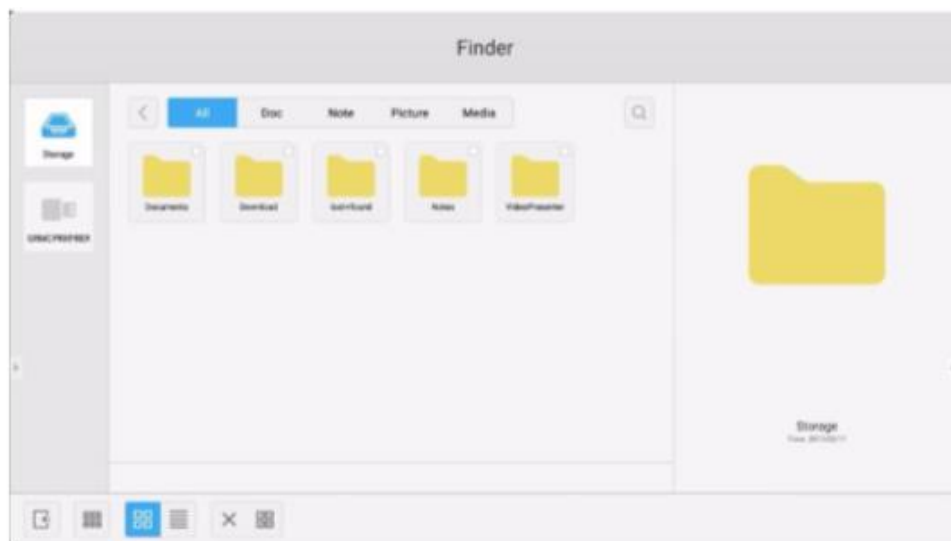


図 4-2-1 選択インターフェース

- ②  を押すと、現在のディレクトリの下にあるすべてのリソ
ースを選択できる。

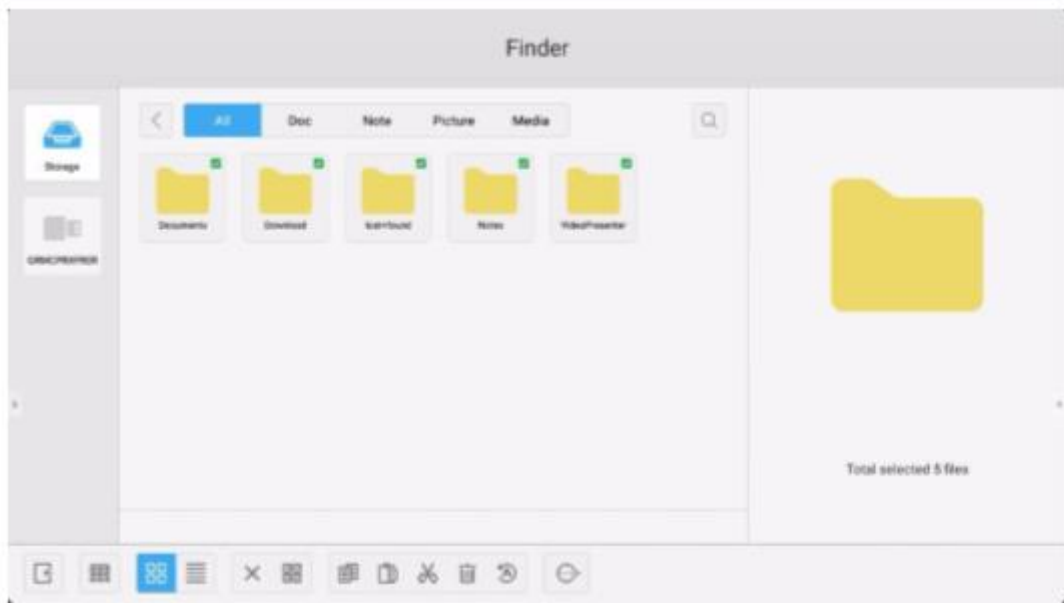


図 4-2-2 全選択インターフェース

③ ✕ を押すと、現在選択されているすべてのリソースがキャンセルされる。

④ [Creating]を押すと、現在のディレクトリの下に新しいフォルダが作成される。

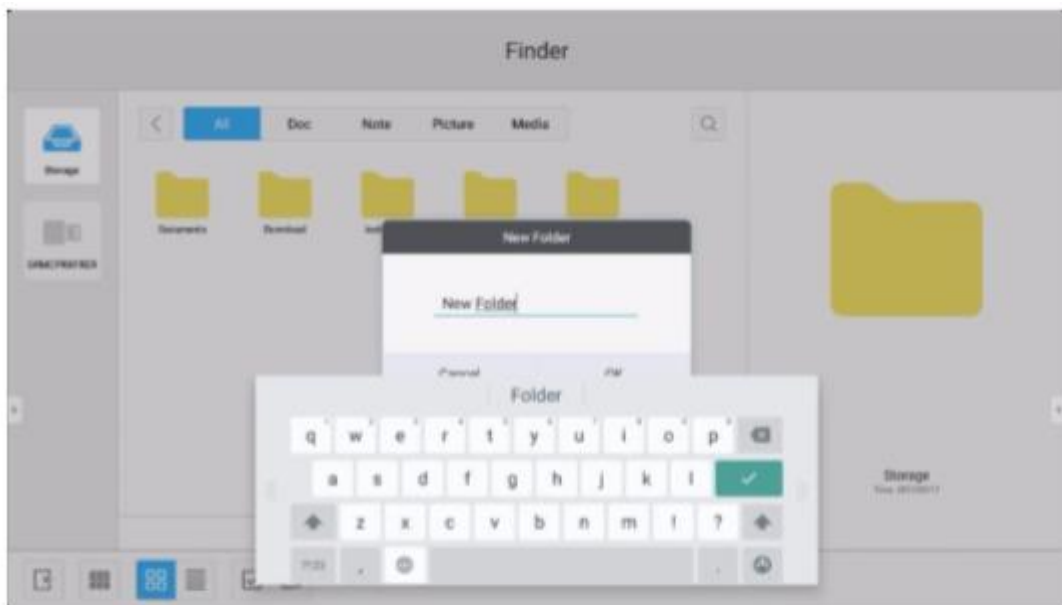









図 4-2-3 新しいフォルダ

⑤ リソースが選択されると、コピーボタンが表示される。  を押して現在選択されているリソースをコピーする。

- ⑥リソースが選択されると、切り取りボタンが表示される。 を押して現在選択されているリソースを切り取る。
- ⑦  を押して選択されたリソースを削除する。
- ⑧コピーまたはカットされているリソースがある場合、 は使用可能である。ユーザーは、必要に応じて、コピー/カットしたリソースを指定した場所に貼り付けることができる。デフォルトのフォルダに「すべて」のリソースの場所が表示されている場合にのみ、貼り付け操作を実行することができる。
- ⑨  を押して選択されたリソースを改称する。
- ⑩  を押して「送信」ボタンをポップアウトする。選択したファイルを目当てのフォルダーに送信することができる。
- ⑪特定のリソースを長押しすると、リソース操作メニューがウィンドウの下部に表示される。現在のリソースで、削除、コピー、切り取り、貼り付け、名前の変更などの操作を実行できる。

4.3 順番

※図 4-3-1 に示すように、 を押してメニューをポップアウトする。名前、タイプ、サイズ、時間による順序付けなど、リソースを順序付けることができる。デフォルトでは、リソースは名前に従って順序付けられる。

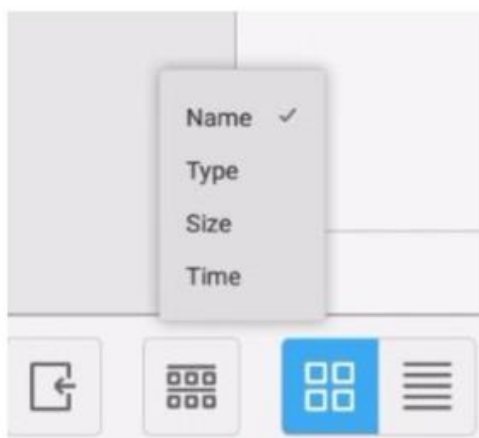



図 4-3-1 順番

- ① 「名前による順序付け」が選択されている場合、表示されるリソースはリソース名に従って順序付けられる。
- ② 「タイプによる順序付け」が選択されている場合、表示されるリソースはリソースタイプに従って順序付けられる。
- ③ 「サイズに応じた順序付け」が選択されている場合、表示されるリソースはリソースのサイズに応じて順序付けられる。
- ④ 「時間順に並べる」を選択すると、表示されたリソースはリソース時間に従って並べ替えられる。

➤  を押すと、アイコンの形でリソースが表示される。図 4-3-2 に示すように、リソースはデフォルトでアイコンの形で表示される。

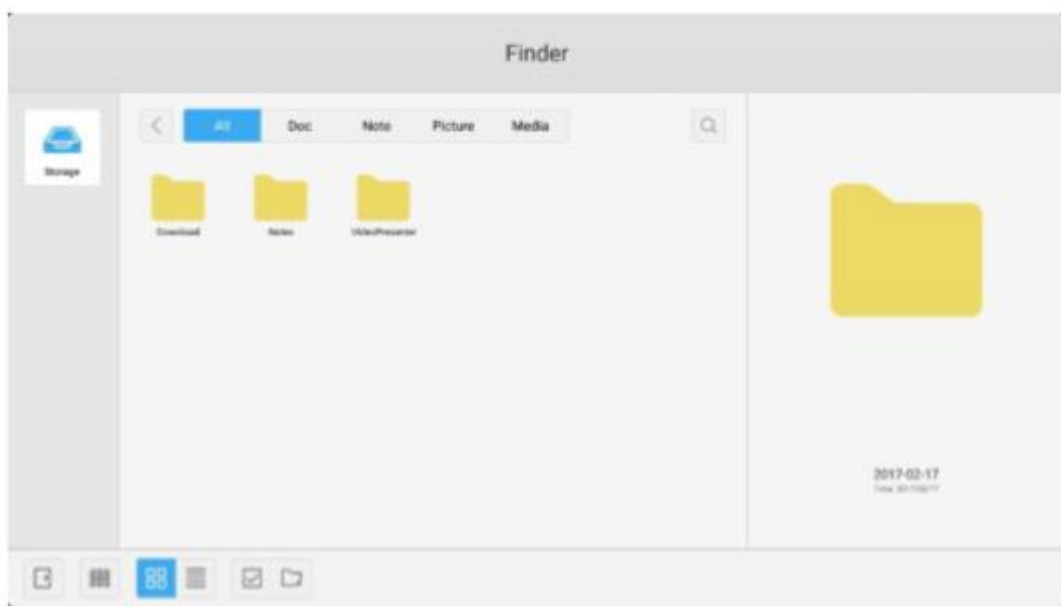


図 4-3-2 タイルディスプレイ

➤ 図 4-3-3 に示すように、詳細情報の形式でリソースを表示するには、クリックして切り替える。

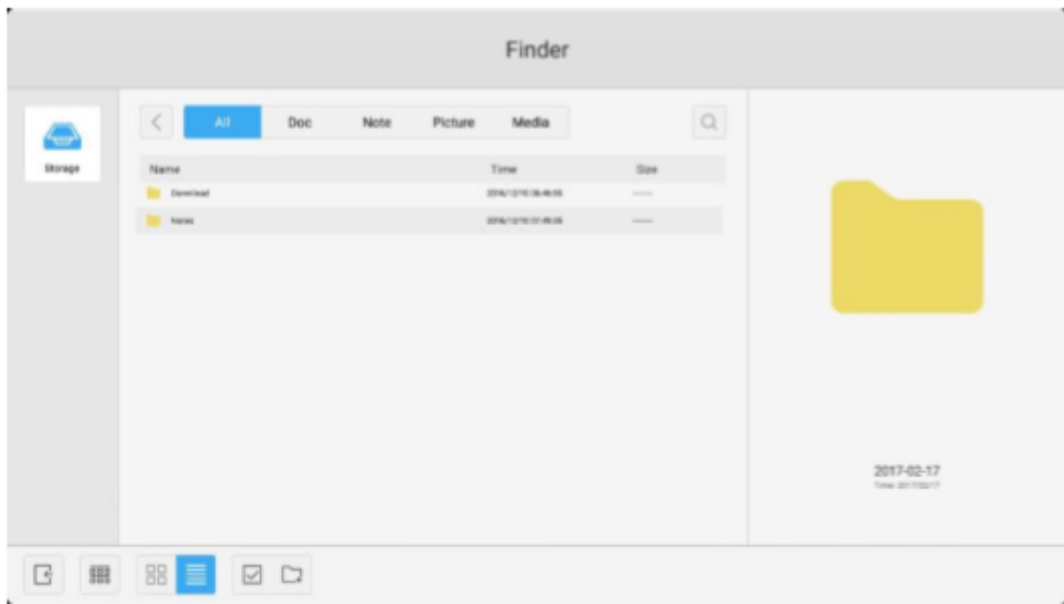


図 4-3-3 リストディスプレイ

4.4 閉じる



を押してファイルの参照を終了し、ホーム画面に戻る。

5 ビジュアルライザー



ビジュアルライザーが正常に接続されたら、図 5-1 に示すように、 を押してビジュアルライザーを起動する。ビジュアルライザーには、全画面表示、写真の撮影、注釈、設定などの機能がある。



図 5-1 ビジュアルライザー

6 設定

図 6-1 に示すように、 を押して設定を開く。タップしてクリックし、ワイヤレスとネットワーク、共有、デバイス、個人などの設定オプションを選択できる。

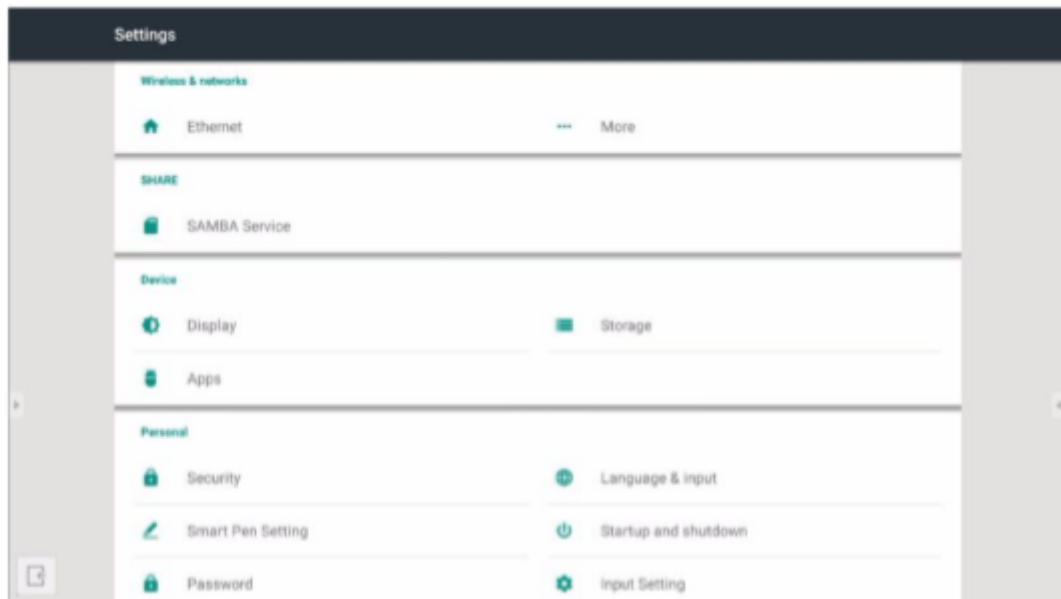


図 6-1 設定メニュー

6.1 無線とネットワーク

ネットワークを有効にするかどうかを設定し、MAC アドレス、IP アドレス、マスク、ゲートウェイなどのネットワークを表示することができる。

6.2 共有する

シェアリングサービス「SAMBA」が備わっている。

6.3 端末

ディスプレイ：壁紙の設定、および焼き付き防止時間。

6.4 ユーザー設定

言語と入力、スマートペン、起動とシャットダウン、ScreenLock パスワード、パス名などの設定。

言語と入力：言語と入力方法を設定する。

スマートペンの設定：スマートペンのペアリング

起動とシャットダウン：起動チャンネルの設定、起動後のスタンバイ

パスワード：ScreenLock のパスワードの設定

入力設定：パスの名前変更

その他の設定：スライドツールバーとフロートバーの設定；メモ書きの際の 1 本指と複数指の設定をする。


6.5 システム

日付と時刻の設定、およびデバイスについて。

7 ブラウザ

ネットワークが正常に接続されたら、 を押して Web サイトにアクセスし、Web ページにアクセスする。

8 キーパー

図 8-1 に示すように、 を押して Keeper インターフェースをポップアウトする。インテリジェントタブレットコンピューターでメモリの最適化、ガベージクリーン、およびハードウェアチェックを実行できる。

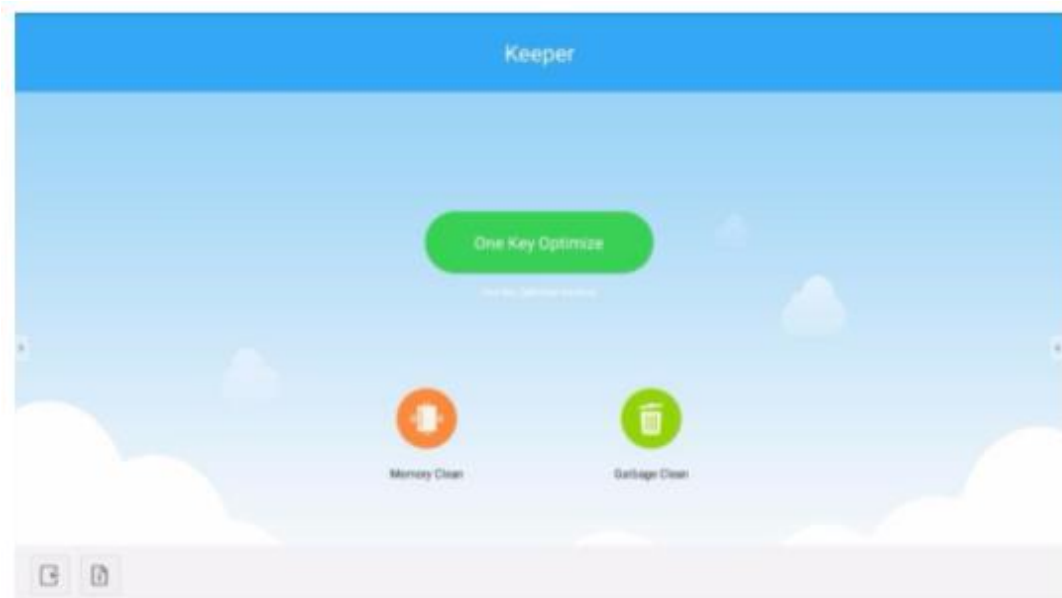
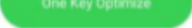



図 8-1 キーパー

➤ワンキー最適化。 を押してメモリを最適化し、ディスクガベージをクリーンアップし、1つのキーでハードウェアの問題をチェックする。

➤メモリクリーン。 を押してメモリを最適化する。

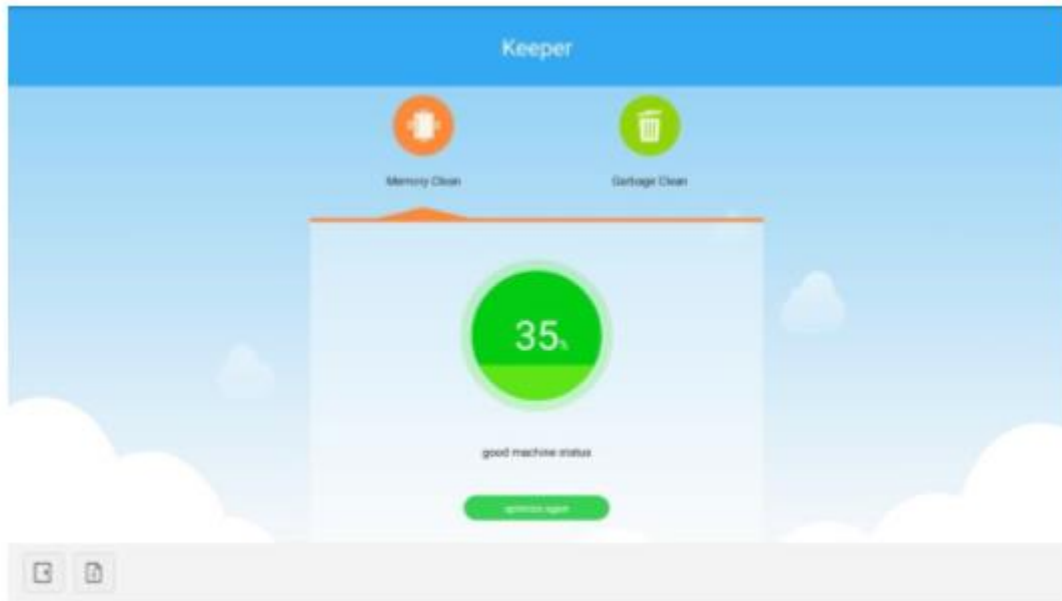



図 8-2 メモリークリーン

➤ゴミをきれいに。  を押してディスクガベージをきれいにする。

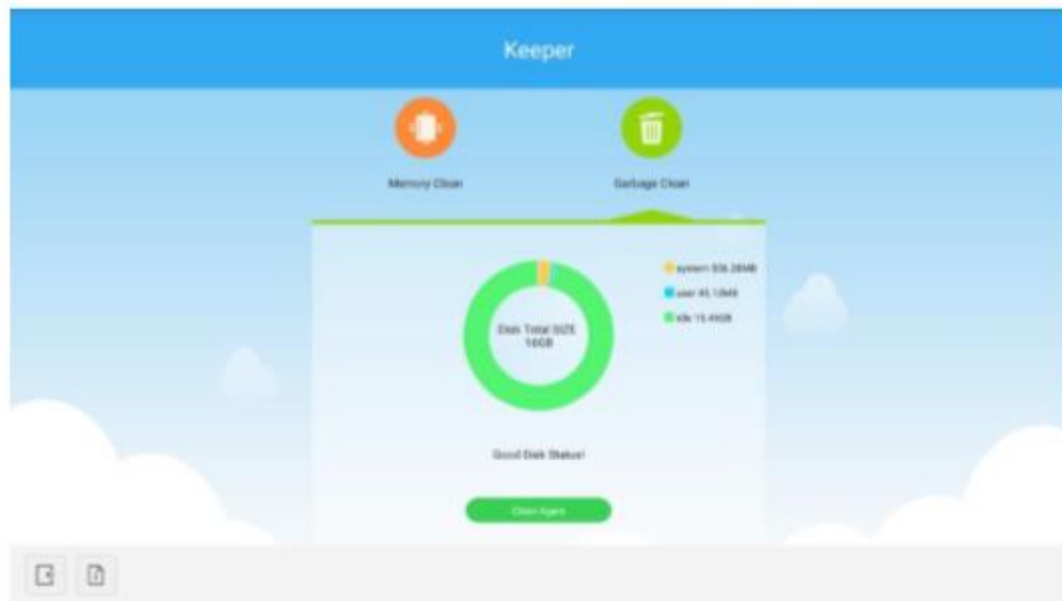




図 8-2 ガベージクリーン

➤バージョン情報。  を押すと、マシンのシステムバージョン情報が表示される。

➤閉じる。  を押して Keeper を終了し、メインインターフェイスに戻る。

9 タッチメニュー

タッチメニューにアクセスするには、画面の下部から上にスライドする。

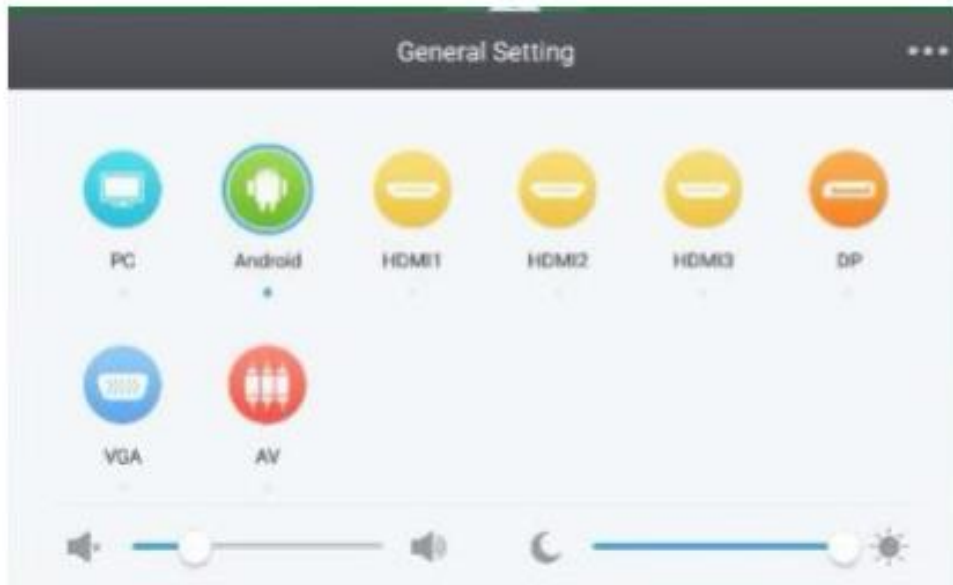


図 9-1 一般設定

PC : PC 入力を選択する。

Android : Android 入力を選択する。

HDMI : HDMI 入力を選択する。

VGA : VGA 入力を選択する。

AV : AV 入力を選択する。

DVI : DVI 入力を選択する。

*信号入力の切り替えには数秒かかる。

10 クラウドドライブ



を押して、Cloud Dive に接続する。

11 スクリーンロック



を押すと、まだパスワードを設定していない場合、パスワードの設定ページが表示される。

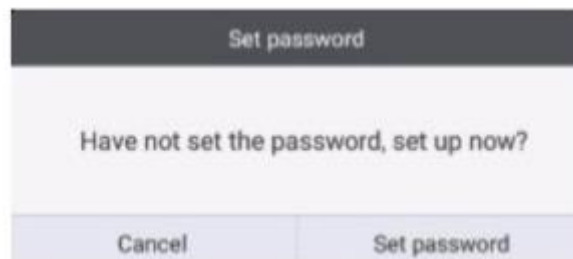


図 11-1 パスワード設定

パスワードを設定すると、画面がロックされる。ロックを解除するにはパスワードを入力する必要がある。



図 11-2 パスワードの入力

上記が OS のユーザーマニュアルの内容の全てです。この文書は予告なく変更される場合があります。

当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。